



子ども大学かわごえ  
CUK だより

第6号 NO.0906

2010年1月10日

## 新（あらた）しき年の始の初春の 今日降る雪のいや重（し）け吉事（よごと） 大伴家持

あけましておめでとうございます！

子ども大学かわごえは一昨年12月22日にNPO法人子ども大学かわごえとして誕生してちょうど満1年になります。今後もみなさまのご協力によって、ますますよい大学になるよう努力したいと思います。

昨年は3月20日～22日の3日間に東洋大学、尚美学園大学、東京国際大学で第1期の授業を行いました。今年度は特別授業を除いて前期を休講にして3月の授業の振り返りと今年度後期授業の準備を行いました。今年度は10月10日に始業式を行い、池上彰客員教授の授業で後期の授業の幕を開けました。さらに11月と12月に女子栄養大学根岸由紀子先生と竹本孝之客員教授の授業も行いました。

新年は、1月23日に**ふるさと学**の授業があります。川越喜多院の塩入秀知（しおいり・ひでとも）住職が「喜多院と川越」、川越氷川神社の山田禎久（やまだ・よしひさ）宮司が「川越氷川祭（川越まつり）と川越」という2コマの授業を行います。子ども大学かわごえでは初めての**ふるさと学**の授業で、市内の寺社を代表するお二人の話は興味を引くものと思います。塩入住職のお話のなかでは、天海僧正、徳川家康&家光、春日の局といった歴史上の人物の名前が出てくるとと思います。あらかじめ予習をしておく、授業が楽しくなるはず。先生方が「何か質問がありませんか？」とお聞きになったときに疑問の点をどんどん質問すればよいのです。

学校の勉強は復習に重点をおいているようですが、それは**暗記型の学習方法**です。子ども大学かわごえでは**考える学習**をしてほしいと思います。それに適した学習方法が**予習の重視**です。23日の授業ではよく準備をして、質問で先生方を困らせるようにしてください！

2月20日は東洋大学理工学部吉野隆教授の授業で、「なわばり線と形の科学」といういかめしいタイトルがついています。私たちはこの授業から何が出てくるか想像が付きませんが、手を使った作業などがあるようで、きっといろいろなサプライズが用意されているはず。ぜひ。

3月は桜美林大学の馬越恵美子（まごし・えみこ）先生の「異文化コミュニケーションを

楽しもう！」という授業です。馬越先生はNHKラジオで講師をされた先生ですが、若い時は同時通訳者として国際会議等で大活躍をし、内外の著名人と親交のある幅の広い国際人です。お話もお上手ですので、どんな授業になるか楽しみです。

その翌週学園祭“こどもがつくるまち「ミニかわごえ」”が蓮馨寺で開催されます。

以上が子ども大学かわごえの最初の1年間の行事となります。4月に入ると22年度1年間の授業計画を発表すると同時に募集案内を行います。

## 竹本孝之先生コミュニケーションの授業

12月5日（土）午後1時半、東京国際大学232号教室。雨が降りそうな、曇り空。授業の前に、初めての**ホームルーム**が行われました。子ども大学かわごえを発展させていくために、学生・保護者とCUK会員の間のコミュニケーションの場として設けられました。今回は、遠藤学長からCUK紹介誌「こうして創った子ども大学かわごえ」出版の報告があり、酒井事務局長から3月に行う予定の「ミニかわごえ」の紹介と、運営スタッフとして、ジュニアスタッフとおとなサポーターの募集呼びかけがありました。

午後2時、1時間目の竹本先生の授業が始まりました。

先生は、1965年福岡県で生まれ、長崎県で育ちました。1981年に歌手としてデビュー、第23回レコード大賞新人賞を受賞しています。歌手・俳優として活躍し、現在は埼玉県川島町に住んでおられます。竹本先生は芸能界のアイドルでしたので、学生よりも保護者の方が、ソワソワ・ドキドキしている様子です。



いよいよ授業が始まりましたが、先生の様子がおかしいのです。竹本先生の表情には、笑顔がありません。

下を向いて、ぶつぶつ……。何を言っているのか、ちっともわかりません。自己紹介をしているようにも聞こえるし、文句を言っているようにも聞こえるし……。どうしたのだろう？ このまま授業が続けられるのだろうか？ みんなの不安が最高潮に達したときでした。いきなり大きな声で

**「ちょうど30秒！ 竹本です!!」**

はじめの暗い自己紹介は、演技でした。

「最初の30秒間の自己紹介はどうだった？」という先生の問いかけに、「よく聞こえなかった」「下を向いていた」「何を言っているかわからなかった」「暗かった」と学生たちの答え。

「自己紹介とは、自分を相手に知ってほしいから、やるんだね。自分のことを知ってほしいのに、下を向いて何を言ってるのかわからない暗い態度だと、だれも聞いてくれないね。口をしっかりと開けて、大きな声ではっきりと、自分のことをわかってもらうために



自己紹介をするんだ。みんなにも自己紹介をやらせてもらおう！」明るく、大きな声で、はきはきと先生は学生に語りかけます。みんな真剣に耳を傾けます。

自己紹介のポイントを先生から教えていただいて、みんなで30秒間の自己紹介をしました。先生は時計を見て、30秒という時間を計っています。ところがみんなは、なかなか時間を使い切ることができません。今まで短いと思っていた30秒は、考えていたよりずっと長い時間が使えることがわかりました。

コミュニケーションの第一歩。自己紹介。そのためには腹から声を出すことが大事です。そこで腹式呼吸の練習もしました。



2時間目の授業は「笑顔の力」です。配られている2枚の用紙の1枚には顔の「りんかく」を、もう1枚は自分で一番良いと思う「目」と、これが最高という「口」の絵を描きます。それを切り離し、各パーツをりんかくの上に載せて、クリアファイルに入れました。みんな色々な顔の表情ができました。

例えば、上を丸くした三日月形の目と、下に丸みのある三日月形の口を切り取って、りんかくの上に載せると笑顔になりますが、それぞれの向きをひっくり返すと、目は閉じ、口はへんの字の不機嫌な顔になってしまいます。顔の印象はとても大事です。口角の下がった不機嫌な顔では仲良しのお友だちができません。

そこで割り箸を使って、口角を上げるトレーニングもしました。みんな口元の両端に1本ずつ割り箸をかんでみました。素敵な笑顔になりました。口角が上がっていると笑顔になります。笑顔だと人から好かれます。相手とのトラブルも少ないし、信頼もあつくなります。「笑顔の力」です。

竹本先生は、コミュニケーション能力を伸ばす授業を90分、全力で教えてくれました。授業が終わる頃、先生は子どもも大学のアイドルになっていました。

最後に、記念写真を撮りました。



## お知らせ

### 1. 授業の予定

- 1月23日(土) 教室 東京国際大学 第2キャンパス<sup>1)</sup> 2311 教室  
1時30分受付開始 1時35分～50分 ホームルーム  
2時～2時50分 授業 「喜多院と川越」 塩入秀知住職  
3時～3時50分<sup>2)</sup> 授業 「川越氷川祭(川越まつり)と川越」 山田禎久宮司
- 2月20日(土) 教室 東京国際大学 第1キャンパス 232 教室  
1時30分受付開始 1時35分～50分 ホームルーム  
2時～3時50分<sup>2)</sup> 授業 東洋大学理工学部 吉野隆准教授  
「なわばり線とかたちの科学」
- 3月6日(土) 教室 東京国際大学 第1キャンパス 232 教室  
1時30分受付開始 1時35分～50分 ホームルーム  
2時～3時50分<sup>2)</sup> 授業 桜美林大学 馬越恵美子教授  
「異文化コミュニケーションを楽しもう！」

注1) 東上線霞ヶ関駅南側改札口を出て左側へ。(右側は第1キャンパス)

2) 1限授業と2限授業の間10分間休憩、3時50分から4時まで事務連絡。

### 2. 学園祭“こどもがつくるまち「ミニかわごえ」”

前回のホームルームでジュニアスタッフとおとなサポーターの募集を行ったところ、十数人の方が親子で応募してくれました。12月22日と26日に説明会を開き、一部の有志で実行委員会ワーキンググループ(WG)をつくりました。1月30日(土)午前10時～12時に蓮馨寺講堂で第1回実行委員会を開きたいと考えますので、親子でふるってご出席ください。2月に入ってからジュニアスタッフとおとなサポーターは分かれて集まることになる予定です。ご協力をお願いいたします。

### 3. CUK 理事会

新しい理事が加わりましたのでお知らせします。

理事長	江夏健一(早稲田大学名誉教授)
理事・学長	遠藤克弥(東京国際大学副学長)
常務理事	口元周策(早稲田大学校友会事務局長)
理事・事務局長	酒井一郎(早稲田大学産業経営研究所特別研究員)
理事	望月智行(川越胃腸病院院長)
理事	矢倉久泰(教育ジャーナリスト)
理事(新任)	山崎嘉正(榊屋社長)
理事(新任)	石井成人(昭和工業(株)社長、川越市PTA連合会長)
理事(新任)	斉藤信子(元川越市教育委員長)

### 子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ  
〒350-1109 川越市霞ヶ関北3-12-6  
霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>  
TEL 080-2053-2991(事務局直通)  
FAX 049-233-1640  
E\_MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)